

基礎から学ぶ座談会 〔キノザダ〕

前書き

「この座談会は、旅行・鉄道研究部の未来を担うはずだった現高2部員が『とりあえず座談会開いて停車場に載せてみようぜww』という発言から始まったものである。」
もはや伝統と言っても過言ではないこの前書き。
それはさておき、私たちは終業式後、錦糸町のサイゼリヤと亀戸の歌広場で
昼から夜まで鉄研HP班高2〔5人〕で鉄研生活の5年間を語りつくしました。
その中から厳選して公開できる会話を書きます。
鉄オタ高校生たちが鉄研の友達の黒歴史を晒しながら過去を振り返っていきます。
ちなみに、題名は高2のある先生のネタのパロディです。

メンバー紹介

- 中田… 5人の中で鉄道へのパッション〔情熱〕が一番ある文化部最大勢力の鉄研を率いる**部長**。
毎長期休暇に5日間くらい18切符とかの安い切符で日本中を鉄道で旅行している。
今回の座談会では基本的に何もしゃべってない《部長なのに…》。
- 小加藤… 前顧問が二人の加藤を区別するために「小加藤」と呼びはじめたことで、
小加藤と先輩からも後輩からも呼ばれるようになった **HP 班班長**。
浦和レッズファン。だが、部活中にもそれをアピールしすぎなのでよくネタにされる。
鉄道や一般常識があまりに分からないのでみんなから情弱〔情報弱者〕扱いされている。
- 石川… 高2になり鉄道への興味を完全に失った **HP 班副班長**。
埼玉西武ライオンズファン兼競馬ファン。
約一年前からツイッターを開始しており鉄研高2HP班ツイッターの第一人者。
- 高野… 今回の座談会を録音したやつを一から聞いてワードに起こしている**著者**〔ESS部長〕。
録音した音源をただワードに起こしているだけなのに著者と名乗る。
著者になった理由は、いざ録音するときに他の4人のスマホの電池の残量が死んでいて自分のスマホで録音することになり そして… 流れです。
- 宗像… 鉄研の**ネタ要員**。いつも調子に乗っている。遅刻癖がある。《鉄研部員としては死活問題だよ…》。
好きなものまねは東京モノレール羽田空港国際線ビル駅の韓国語アナウンス。
エレベーター・トイレ・フォントオタクそしてアニヲタ〔推し声優は水瀬いのり〕。
好きなアニメキャラ〔2018年現在〕は「はたらく細胞」の「血小板」。母サヨシ。

座談会 2018 スタート (at サイゼリア錦糸町楽天地店)

◆石川が来てからスタート

石川「ごめん」

他「ういっすー」

小加藤「メットライフ〔西武ドーム〕にでも行ってるんじゃないかと思った」

全員「www」

石川「今日ナイトゲームだよ」

高野「録音してからの初めての会話がメットライフかよw」

◆この学校に入学した経緯

小加藤「小学校の頃（高輪の）文化祭やオープンキャンパス行った？」

石川・高野「行ってない」

中田「文化祭行った、文化祭で（この学校）いいなと思って」

他「ああ【納得】」

小加藤「オープンキャンパスも文化祭も全く行かなかったなあ」

石川「入試のとき初めて来た」

高野「そうだよね」

小加藤「日能研で試験会場としては行ったことある」

中田「ああ…」

小加藤「学校の雰囲気があったから良かった」

高野「高輪第一志望？」

中田・小加藤「第一」

石川「第何か分からなかった」

他「www」

石川「なんか入試の時に受験票が来て、そこに校長先生のメッセージで

『数ある中学校の中から高輪中学・高等学校を選んでくれてありがとう…』みたいなのが来たな」

他「覚えてねえよww」

石川「割と感動した」

小加藤「なんかあんとき自分にはこんな偏差値高い学校似合わないんじゃないかってとても不安だった」

中田「(学校内の)メガネ率www」

高野「今いる四人でも二分の一じゃん」

小加藤「まあ、ただ単に視力悪いだけなんだけどね」

高野「なかなか…」

小加藤「メガネとコンタクトだったらコンタクトのほうが高いでしょ」

高野「俺メガネしてないからその辺についてはあんまり詳しくない」

小加藤「コンタクトやった事ない」

中田「怖いよね、直接目に入れるの」

小加藤「あと、メガネかけないとブサイクって言われる。いや、メガネかけてもブサイクだけどwww」

◆初めて鉄研メンバーが集まったときのそれぞれの印象

高野「鉄研として初めて集まったときに宗像の印象が強すぎてそれくらいしか覚えてない」

小加藤「初めて鉄研行ったときの記憶ってK瀬君がいたことくらいしか覚えてない」

高野「俺も同じクラスだったからU木とK瀬が仲良かったな、今も仲良いけどね」

石川「いざ鉄研入ってみたら全然思っていたのと違ったから…」

高野「正直なところ中田と石川って中一の時の記憶があんまない」

石川「いやぁ…もう普通に鉄研辞めようと思っていた」

他「辞めようとしたの!?!」

◆デストレイン

小加藤「とりあえずHP〔ホームページ〕班入ったけどパソコンの知識ゼロだったから…」

中田「BVE※とかやったら頭がパンクしそう《衝撃発言》」

高野「BVEが嫌だから路線研究課に入ったのもあるよね」

中田「それ【返答】」

高野「中田、高野、益（元生徒会長）とかそんな感じだよな」

小加藤「BVEとかはデストレイン※とかで…」

他「デストレインwww」

石川「(中一の) 痕跡デストレインだけだ…」

小加藤「中一の痕跡ってデストレインくらいしかないwww」

石川「あと強いて言えば中野島くらい」

他「www」

小加藤「中野島くらいしかやってないじゃん」

高野「中一の功績デストレインと中野島だけかよ」

◆宗像の印象について

小加藤「宗像の印象ねえ～ おもしろいイカ臭いやつみたいなの」

他「イカ臭いwww」

石川「(宗像とは) 車内で隣だったんだけどお菓子とか座席や床にぶっ散らかして…

クッソ汚かったよねwww」

小加藤「で、そのあと吐いたからねwww」

高野「酷すぎるだろwww」

小加藤「本当、特急のシートめちゃくちゃだったからねwww 菓子のカスマみれだったからねwww」

参考：BVE

鉄道運転シュミレーターソフトの一つ。

参考：デストレイン

小加藤が考案したBVEのルートをぶっ壊すように自由に作ること。

参考：中野島

鉄道運転シュミレーターソフト「BVE」にて、小加藤が再現した南武線の駅。

◎鉄研夏の中一入門旅行

高野「中一入門旅行参加した？」

小加藤・中田「した、した」

石川「したけど、俺は本当に誰ともしゃべってないから…」

小加藤「入門旅行のほうが鉄研旅行よりも参加者が多いという事態が起きた…」

高野「あ一分かる」

小加藤「先輩たち結構参加していたよね」

高野「言うて参加しやすかったと今も（先輩になってみて）感じる…」

石川「入門でも割とキツイな～と思ったよもう…、

内房線の帰りはほんとにきつかったあ…、ずーっと千葉まで行く2時間半。」

小加藤「木更津と君津の間ずーっと寝てたから記憶がない…」《木更津から君津は7分〔1駅間〕》

◆安房鴨川駅周辺での自由行動

高野「正直さあ、安房鴨川で自由行動はじめてだったから、なんもできなかつたんだけど」

小加藤「とりあえず浜辺でそば食ってて」

中田「そうなの…」

小加藤「ざるそば食ったんだよ なぜか浜辺で」

中田「浜辺で？」

高野「安房鴨川駅に1時間いて、

そしてそれから…海岸まで歩いたんだよ…それくらいしか記憶ないよ…」

中田「僕は地元のイオン行ってた…」

小加藤「あー」

中田「地元のイオンの本屋行って、なんか本読んでたから…」

小加藤「U木君〔旅行行程作成者〕の案ではなんか鴨川シーワールドに行行って推奨していたけど…

（時間がなさ過ぎて）無理だよな」

高野「そうだよな」

小加藤「一応クーポンは持っていたんだよ。鴨川シーワールドの。だけど、行けなかつた…」

石川「入門旅行でここまで話ができるとは思わなかつた」

◎中一冬旅行

◆大糸線で体調不良者続出事件

小加藤「まず、ムーンライト信州がめっちゃ遅れて」

石川「大糸線で吐きそうになった」

小加藤「俺も大糸線で気持ち悪くなって…」

中田「僕もその時、体調崩して…」

石川「みんな体調崩してんじゃないww」

高野「怖い怖い怖い」

小加藤「行きのムーンライト信州で宗像と隣になったんだけど…

宗像が寝る体勢崩して、肩にずっと乗っかってきて…」

他「www」

小加藤「その頃まだ8時間睡眠ずっとやってたからねww〔今は3時間〕

初めての2時間睡眠で… あいつ〔宗像〕がずっと肩に乗っかってきて

揺らしても起きないんだよ【怒り】」

高野「強行手段に出ないとダメだって」

石川「俺なんか一回下諏訪で起きて西島先生に起こされたよ」

中田「それで白馬に着いて」

石川「俺 白馬で吐いたわww」

◆小加藤小牛田で JK に Dis られる事件

⇒小加藤仙台で列車内に荷物忘れる事件※

重要：この部分だけ別日に収録したので宗像がいます。石川と中田はいません。

小加藤「小牛田の忘れ物事件は何だろうねえ… JK〔女学生〕に傷つけられたショックを紛らわすために

寝ていたら、荷物を網棚の上に置いていたのを忘れた」

高野「JK と忘れ物を合わせて小牛田事件だよね」

小加藤「小牛田のことずっと『こうしだ』ってずっと読んでた」

宗像「弘前のこと『ひろまえ』って読むよりは…※」

高野「それはヤバい」

小加藤「まず、トイレに行こうとして… トイレのドアの近くにいた JK に dis られて…」

宗像「『何あの人～ww キモ～い wwww』って」

小加藤「で、結局トイレ我慢したというね

そして、仙台駅に網棚に荷物置いたままいつちゃって…

それで、牛タン食べに行ったら西島先生に『お前、背中に持っている大きい荷物は？』って…」

宗像「あの時牛タン待っていたよな」

補足：ひろまえ〔弘前〕

○ 村君が真面目に話していたときに
出た衝撃発言

小加藤「奇跡的にその列車の折り返し時間を覚えてて、
その時間をおもいきり過ぎて『あっ、終わったな…』って」

他「・・・」

高野「絶句じゃねえかよ！！」

他「www」

高野「結局荷物はどうなったの？」

小加藤「着払いで 1300 円」

他「あーあ」

◎ 中一→中二春旅行

◆ 宗像壬生川 4 時間待機案作成事件

小加藤「あのとき宗像が自由行動旅行案考えていてそれが壬生川に四時間いるっていうやつで」

他「www」

小加藤「やる事がメシを食うだけという…」

けど実際壬生川行ってみたら松崎先生もあきれくらいいなんもなくて…」

高野「結局その案になったの？」

小加藤「いや、なってないよ それで西島さんが『お前ら頭おかしいんじゃないか』ってw」

他「www」

小加藤「結局西島さんがスマホで調べて、こんびらさん行ったりとかした」

高野「そりゃそうでしょ」

小加藤「ほぼ西島さんが作った旅行案と言っても過言ではない」

高野「さすがに（宗像案は）ひどいよww」

小加藤「そのせいか高知駅でも結構余裕を持たせておいて

集合が朝の 8 時くらいだったけど 9 時何分か電車で乗って予定にも影響が出なくて済んだ」

中田「あのお～（ウチの班の）O 村とうなぎ屋行っただけど定休日だったからさあ

高知のイオンのフードコート行った」

小加藤「俺が不思議に思っていたのはさあ… 一日目豊橋で駅弁屋行っただけど、

O 村ウナギ弁当食ってて…」

中田「www」

小加藤「そのあと、O 村が『二日目の夜はウナギです』とか言ってて…

『二日連続でウナギ食うの？』って」

高野「バブリーww」

小加藤「あと、新快速（JR 西）内のボックスシートで高野、O 村とかの四人で座って

駅弁食うんだけど… 一人ずつ食おうっていうゲームになって…

誰か一人食うまで他の人は食ってはいけないというルールで

俺一人だけめっちゃくちゃゆっくり食って、O 村が『お前早くしろよww』ってww」

高野「俺、そのとき居たよねwww」

小加藤「京都から尼崎くらい〔30分強〕までずっと食ってて…」

他「www」

中田「京都から尼崎って結構長いよねwww」

高野「今思えばなんでそのルールに従っていたのか謎だった」

石川「4番目の人が損するだけのゲームじゃんwww」

◆宗像遅刻神話

高野「中二くらいから宗像が愛されキャラになっていったよね」

小加藤「でもさあ… 宗像遅刻神話みたいなのがあってさあ…

アイツがいると絶対遅刻系のハプニングが起こるっていうのが
中二の間ずっと続いていたんだよね…」

石川「クッソ疫病神じゃんアイツwww」

小加藤「まず中二の夏旅行でさあ 京都までの自由行動で遅れたしさあ

冬旅行では電車が遅れてムーンライトながらに間に合わなくて名古屋から…

春旅行では名古屋駅で味噌煮込みうどんの店に行ったら、うどんの注文が通ってなくて

2時17分の電車に乗る予定が2時02分くらいにうどんが来て、10分くらいで食って

ホームまで結構距離あったんだけど3分くらい全力で走った…」

高野「可哀想に【皮肉】www」

小加藤「OBの人は宗像の荷物持ってきて…」

高野「宗像マジ疫病神やんwww」

中田「宗像毎回ガラガラ〔スーツケース〕で来るよねwww」

高野「そうだわwww」

中田「西島先生毎回さあ 宗像にいつも『ガラガラで来るなよ』って言ってたよねwww」

高野「確かに言ってた」

石川「荷物を分けるのがよくないとか言ってた」

小加藤「荷物は一つにまとめるべきなんだけど…」

石川「そうそう」

小加藤「アイツ昔非常食を旅行にたくさん持ってきたりしていたよね」

石川「アイツそれを全部散らかしたった」

小加藤「それで荷物整理に五分間かかった」

高野「本人登場しないまではめっちゃアイツのこと言ってるねwww」

小加藤「宗像の『今から行く』は絶対信用できないよね」

高野「まあまあ」

小加藤「今から行くって電話かけた20分後にまた電話しても『まだ家』とか言っているからねwww」

他「www」

遅刻モンスター宗像が遅れて到着。ここから話が変な方向に…。

◎ 中二→中三春旅行

◆ 別府タワーのトイレ

高野「別府タワーがすごい印象に残っている」

小加藤「別府タワーがこう…意外と怖かったあ」

高野「別府タワーあれなんか窓ガラスが割れてたね…」

小加藤「割れてたよね…」

宗像「なぜか（別府タワーの）トイレがさあ、薄水色〔うすみずいろ〕のタイル張りあるじゃん。

あの公衆トイレとかでよくある感じかなーと思ったら中に最新のウォシュレットだった」

小加藤「そう」

宗像「たしかアプリコットだった」

高野「知るかよw」

宗像「ネオレストではなかったと思う」

石川「ネオレストはTOTOだよ」

宗像「ネオレストは全自動だな」

小加藤「知らねーw」

石川「アプリコットってどこ（製）？」

宗像「アプリコットはTOTO（製）だけど…なんだろう既存の便器を置き換えるためのだから、

なんだろう…置き換え用のやつ…」

高野「あの一 なんてトイレの話になってんのw」

宗像「いや、俺もねえ、結構トイレのことを研究したりしてたりするから…」

高野「じゃあ、一応…」

石川「（時間制限あるしサイズを）出ないといけないから…」

高野「じゃあ、出る？」

宗像「どうします？」

高野「じゃあ、出ようか。」



▲ネオレスト AHタイプ



▲アプリコット F3AW

場所をカラオケ歌広場亀戸店に移して座談会再開

◎ 中三→高 1 春旅行

◆ 前日までアメリカのホームステイ先にいた宗像

小加藤「とりあえず、一日目から振り返る？」

高野「一日目、アレじゃんwww」

小加藤「そう、一日目はめっちゃ（内容が）濃かったよ」

宗像「野沢ー野沢ーセブン顔した…♪ {後ほど}」

高野「まず上野から（旅行）スタートで…」

小加藤「鉄研旅行のときずっといのりん〔水瀬いのり〕の話してたよなあ…」

石川「ずっーーーーーといのりんの話してたよね」

宗像「（いのりんに）火いーついたのあの時だからwww」

高野「ハピツリ※とかもあのときだよねwww」

補足：ハピツリ（ウィキペディア）

アメリカ発のフラッシュアニメ作品「Happy Tree Friends」の略称。

作品は一見コミカルで可愛いすが、残酷でグロテスクな表現が毎回ある。PG-12 指定されている

小加藤「アメリカのホームステイ先の人もハピツリ知っていたでしょ」

宗像「そうそう、ホームステイ先の人がさあ

『Did you see Happy Tree Friends yesterday?』って聞いてきてさあ…

そしたら（自分は）『Oh yes yes yes !』で返したら 『××自主規制××!』って言われて…」

他「www」

宗像「でもね結構それで盛り上がったのがよかったw」

小加藤「そんな感じでハピツリにはまってたから…」

話を本題に戻す

高野「それで、スペーシア乗って、鬼怒川（温泉）行って、それで会津鉄道乗って…」

中田「あの、マウントエクスプレスの…」

小加藤「俺が、一人孤独にイナイレ〔イナズマイレブン〕やってた会津マウントエクスプレス…」

宗像「かわいそwww」

小加藤「二時間ずっとイナイレしてレベルは上がったけど…」

◆話は会津若松からの長い一日について

高野「会津若松で俺がやらかしかけたっていうね…」

小加藤「会津で温泉に行こうって」

高野「温泉に行こうってなったけど温泉が見つかったのが（出発時間に）結構ギリギリで…」

小加藤「焦り過ぎて、真逆のルートに行っちゃってそれで引き返して…」

高野「結局、K瀬がお風呂は入れなかったという…」

小加藤「結局僕は体洗わずに湯船だけ入ったというね…」

高野「めっちゃギリギリだった…」

その後、磐越西線に乗り新潟に向かう予定だったが、

喜多方駅で現高2のY本が忘れ物をしたことが発覚した。

Y本と、一緒の自由行動メンバーだった高野と宗像が、

荷物が届けられているという野沢駅で下車。

荷物をとってホームに向かうも、

階段を降りるときにはディーゼル音とともに列車が発車してしまった。

その間、荷物はほかの部員たちに託しておいたが、

3人は野沢駅で置いてけぼりにになってしまった。

さらに、次の新潟方面の列車は**2時間後**だった…。

宗像「ほんとあれ絶望だったからね…」

高野「あの絶望感はやばい」

宗像「ぶるるるるるるるるるるゆうんん

〔宗像と高野の前で磐越西線の車両が発車していったときの音のモノマネ〕

高野「www」

高野「今だったら笑えるけどさあ マジでヤバかったんだからねwww」

宗像「でも、野沢駅の駅員さんの誠意があって あそこでの時間はものすごく良かったけどね」

高野「二度と忘れられない、あれは忘れられない。」

宗像「(野沢駅の駅員さんは)『言ってくれていたら待っていたのに～…

暇だったら駅の外でも探索するといいかも』たかいったた…

いやーさあ。本当に忘れられないんだけど～【懐古】」

当時の写真を見ながら…

宗像「これ（写真）？あはは（↑）【上機嫌】」

宗像「会津信金バンクとかさ会津信用金庫とかね

あとそれから、会津町にさわやかトイレだっけな… そんな名前の謎のトイレがあった。※」

高野「よく覚えてるな、俺ですら覚えてないよ…」

補足

道の駅にしあいつに、さわやかトイレは実在しました。

彼の言ったことは間違いではなかった…

感謝

あのときの野沢駅の駅員さん。本当にありがとうございました。



その後無事目的地の新潟駅に到着し、
食事をとろうとしたが…

宗像には新潟駅に黒歴史があった。

それは、彼が中一のときに駅前の和屋

〔某牛丼チェーン店〕で食べ過ぎて

店を出した後、

店の前の道路で吐いてしまうというものだった。

そして彼は、その黒歴史を卒業しに、中学生最後の日にそこを再訪した。

宗像「黒い歴史を一個潰して思い出にイオン結合したなあ（？）」

小加藤「なんかイ木がさあ、（野沢駅でおいてけぼりになったときに車内に残してあった）

荷物をさあ、お前ら〔宗像&高野〕に返したじゃん

それがまさかの聖地〔吐いたところ〕の前とかいうねwww」

中田「僕たちの班はラーメン食って」

小加藤「僕らロイホいって、その後宗像班と合流してクレープ食った覚えがある」

高野「それで小加藤が（宗像に）おいてけぼりにされたじゃんwww」

小加藤「そう、それでゴミだけ渡されておいてけぼりにされた…」

他「wwwwwww」



その後、新日本海フェリーに乗り、私たちの中学生最後の日が幕を閉じようとしていた…

小加藤「高校生になる瞬間〔4月1日午前0:00〕をフェリーの上で過ごした」

宗像「ねっ【返答】」

小加藤「俺はトイレで高校生になった…」

宗像「俺らは甲板でごちうさ（の曲）聞きながら高校生になったわ」

高野「あのときのハシャぎかたはやバかった」

宗像「で、お前〔小加藤〕はトイレwww」

小加藤「俺はトイレで歯みがいていたんだけど、歯みがき粉床に撒き散らしちゃって、

それを掃除したら高校生になっちゃった…」

高野「小加藤らしいなwww」

小加藤「まあ、掃除しながら高校生になるのもまだいいんじゃないかな… と思うけど」

◆リゾートしらかみ号 20 周年の日⇒TJT 先生鉄研旅行電撃参戦

高野「秋田から 20 周年のやつ乗れたのよかったね」

小加藤「まさか、ねえ」

高野「それで、紅白まんじゅうもらったじゃん」

小加藤「あとなまはげと写真撮ったじゃん」

中田「あー撮ってたね」

そして、話は、リゾートしらかみで新青森駅で列車から降りる際のドアの前のホームで仁王立ちをして待っていた高2の学年所属のTJT先生※の話へ…

高野「新青森についたらあの人が登場したよね」

小加藤「ちょうど扉の向こう側にいたよね」

宗像「シュー…テェレンテェレン…〔ドア開閉音の音マネ〕」

石川「(あの人)『ようこそ、新青森へ』っていったよね」

高野「(先生を見たら) うおー (↑) ってなったよね」

他「うおー (↑) www」

高野「全員そこ〔ドア前〕に集まっていたよね」

宗像「あの人さあ、扉の位置合いすぎじゃねw」

宗像「あとそのあとの仙台(地下鉄)でもさあ

たまたまこうやってきてさあピュシュー〔ドア開閉音〕ってね」

高野「あれは偶然だろw」

宗像「一風堂と牛タンと二郎※www」

他全員「wwwwww」

高野「牛タンが一番仙台らしいじゃん」

宗像「まあね」

補足：当時の鉄研は顧問が少なく、鉄研旅行に同伴する先生が足りなかったためなぜか現高2所属の鉄研とは全然関係のないTJT先生が新青森から鉄研旅行に参戦した。

補足：仙台に行った際TJT先生が同伴していた宗像班は仙台でラーメン二郎を食べることになっており、TJT先生はめんどくさかったためその班から逃げてしまったが、偶然、地下鉄内で高野班に出会った。

高野「それでも本当にすごかったよね…

仙台の地下鉄でドア開いた時『ああ～何しているんですか先生』ってw」

全員「wwwww」

◆函館山小加藤置き去り事件⇒

函館のホテルのトイレで宗像盗撮未遂事件

宗像「函館山といえば、置き去り事件でしょ」

小加藤「マジでなんだったんだよあの事件」

宗像「こんな感じでしょ『あれ？小加藤は？あれ？あれ？あ、マジか大変じゃん！』『大変じゃん！』…・

大変じゃんとかいいながら下りのロープウェイの列まで立ち止まらず歩き続けるというwww」

小加藤「奇跡的に行列に並んでいる高野たちを見つけて何とかなったけど…」

高野「その後、×××××××〔店名〕いったんだよね」

宗像「俺がホテルで俺がカレー食っている時にO村が

『俺、ちょっと下痢になっちゃったかも、すごい××自主規制××ってなるけどいい？』とか聞いてきてさあ、ねえ、もう、俺さカレー食っている時にさあ、そういわれてさあ、俺もうカレー吹き出しそうになったからさあwww」

他「wwwwwww」

宗像「別に言われただけでカレー食えなくなるってことはないけど…

でも、カレー食うときにちょっと抵抗があったからさあ

『いいから早く行ってこいやボケがあw』って言って、

それで（彼が）行って、入ったときなんかもうねえ…音が本当に絶望的だったからねえ…」

他「www」

宗像「だから、スマホのカメラのシャッターを切る音を録音していたから、

事前に画面消して、トイレのドアの下の隙間にスマホ差し込んで、

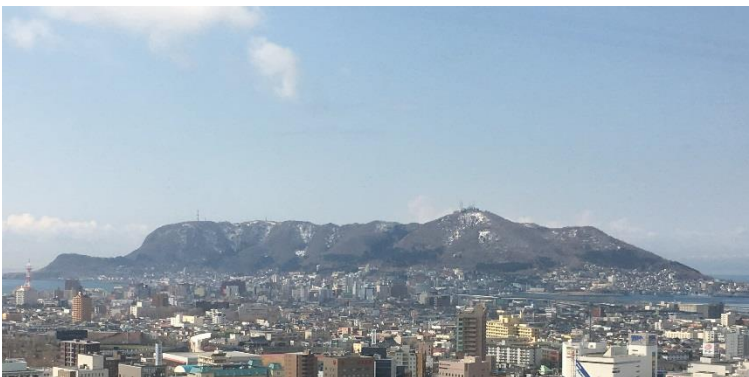
『カシャ！』って鳴るように仕掛けたら…×××××自主規制××××って」

中田「wwwww」

宗像「『撮ってないよ（↑）』って（言って）」

小加藤「マジであれ面白いなあ」

宗像「あれ、ほんとヤバイからwww」



五稜郭から見た函館山

◎高1の夏旅行

◆水上混浴事件

中田「高1の夏(旅行)は3つ臨時列車乗る予定だったのが…

NO DO KA もぐらが取れなくて… リゾートやまどりとSL水上だけになった…」

高野「でも、そのおかげで土合駅行けたのよかったじゃん」

小加藤「いや、でもあれがあったじゃん」

石川・宗像「混浴う—————(↑) で—も—、女性~~は一人しかいない~~—————(↑)」

小加藤「なにその言い方」

高野「キモい【直球】」

宗像「ただ単にきもい—————(↑)」

高野「まあ、そういうことで」

小加藤「T君がまず、水上駅で後輩たちも温泉に誘おうとして大西とか後輩たちを誘い出します
温泉に行きました、**徒歩17分**と聞かされてました。

その時点で頭おかしい(ほど遠い)ですが、結局たどり着いたのは**25分**でした」

高野「マジ? **25分**もかかったの?」

小加藤「そして、行ってみたらまさかの**混浴・屋外**」

高野「泣くしかないだろww」

中田「それを、(T君は)あらかじめ分かった上で案を作っていた…」

小加藤「『ネタだから、ネタだから』とか言って」

高野「ネタでもやっていいことと悪いことがあるだろww」

小加藤「そして出るときには**徒歩25分**の道を帰る気力もなくタクシーで帰りました【怒り】」

◎高1→高2春旅行

◆新宿⇒塩尻⇒名古屋〔在来線〕

小加藤「まず最初中央線に乗ったんだよね」

中田「ずーっと乗っていたよね」

石川「あれはアホ」

中田「しかもロング(シートの車両)しか来ないし」

石川「塩尻からクロスシートだったよ」

小加藤「あれはキツかった」

小加藤「で、それで名古屋まで行って…」

中田「僕たちは名鉄乗って…」

小加藤「で、僕らは大阪市営地下鉄最後の日だったから大阪まで行って…乗りまくったよ!」

◆オレンジフェリー⇒四国

小加藤「で、フェリー乗ってみんなオールしたよね」

高野「俺は1、2時間寝て、中田と石川オールしたんだよね」.

中田「ああ」

小加藤「俺は2時間半くらい」

中田「フェリーの後のバスで爆睡したわ」

石川「寝てたからバス早かった」

高野「ずっと特急いしづちの中で寝てたよね」

小加藤「てかさ、旅行中益君めっちゃ眠そうだったよね」

高野「かわいそうだったよね」

小加藤「なんか生徒会の大会(?)みたいなのがあったとか…」

中田「ああ、あったあった」

小加藤「それまで大会が4日間あってずっと寝不足だったから…」

高野「ていうかあの鉄研旅行のイメージとしては『寝不足』っていうイメージが強い」

小加藤「バスでも寝てて…」

高野「特急の中でもずっと寝てたもんね」

中田「みんな、謎のテンションだったよね」

高野「寝不足って怖い、本当」

石川「そのあとずっと大富豪やってたよね」

小加藤「あと、大西〔高1の後輩〕とUNOやったら大西にめっちゃタメ語使われて」

中田「タメ語ww」

小加藤「『おい、情弱!』とか」

高野「別に大西はいいじゃんww」

◆ここで話は脱線。みんなカラオケがしたくなり…

高野「もう疲れてるだろお前らww」

宗像「なんかカラオケ欲にかられて…」

石川「カラオケがやりたいだけ」

宗像「まあでも最後の旅行だしね」

高野「そう」

宗像「『最後の旅行の終わりを告げて〜』」

小加藤「告げねえわww」

高野「告げてほしくないけど… 鉄研旅行のおかげで個人旅行も行けるようになったね。ステップとして」

宗像「これから行きま〜す (7月) 26日にね」

小加藤「27日ね」

宗像「27だわ、26はもいっかいカラオケ行くんだわ」

小加藤「もう一回いくんか まあ、いいけど」

高野「カラオケ行きすぎでしょww」

宗像「歌広場安いじゃんだって1時間に400円くらいでしょ」

石川「フリータイム810円。野獣(810)だよ。」

宗像「えっ今日フリタ!?!」

石川「フリタで野獣です」

宗像「フリタハチイチゼロ!?! えっ野獣!?! フリーター野獣!?! 嘘でしょ! 安スギィ!」

石川「やったぜ」

宗像「イエーイ ラーメン食うくらいの値段じゃん イエーイ 素晴らしいなこれは…〔語録無視〕」

◆高松のCoCo 壱番屋宗像600g事件《あんま事件じゃない…》

高野「中田初のココイチ」

宗像「あっ、あれか俺が600gくらいののを頼んで、俺だけ遅っせーなーと思っててさあ、

あんまり600gが多いとは思ってなくて」

高野「600gってめっちゃ多いよw」

宗像「で、みんなより腹減っているし… まあ、大丈夫か。と思って… なんか長いな〜と思っていたら
カレーを持ってきた時の手と皿の大きさの比重を見て俺はびっくりした!

『えっ、あれウエイターの水とかをかさねて持ってくる皿じゃないか!』って」

高野「お盆ね」

宗像「『おっ、お盆じゃねえか!!』と思って」

石川「お盆より多いよw」

宗像「『しかも、お盆にしては底が深いじゃないか!!』とおもって」

高野「www」

宗像「もう全部カレーだった」

中田「www」

宗像「いや、でもね本当に美味しかった」

◆高松(栗林)⇒徳島・松山(宇和海)

高野「栗林駅すげくなかった?」

中田「うん」

高野「栗林駅って駅構内が国鉄のままだった」

中田「それで徳島に着いて」

高野「徳島のロッテリアで

(遅れている部員の)生存確認して」

小加藤「僕らは7時くらいの特急いしづち乗って

松山行って宇和海乗って…酔って…」

宗像「イエーイ」



高野「どうでもいい」

小加藤「まあいいんだけどね」

◆小加藤『コンビニ飯は微妙』問題発言事件

宗像「小加藤高松行ったときさあ お前さあ

なんか『セ〇ンイレブンのコンビニ飯は微妙だからミスドに行く』とかいうさあ

『姫路は微妙だから』的発言※したよね」

他「www」

小加藤「いやでもそうじゃん～ コンビニ飯つまらない…」

高野「ミスド飯もつまんねえよ！！」

宗像「そうだよ！！しかもお前さあ 特急が発車する7分前に

なんでミスドに行くの？

お前が帰ってきた時の特急が発車する1分前だからね【怒り】」

小加藤「ちゃんと計算してたし…時計もリセットされてなかったし…※」

・・・

カラオケ（『ハナミズキ』一青窈）「なーつはー暑すぎてー…」

宗像「本当だよ、暑すぎだよ！今年は特に暑いわ※」

高野「確かにね」

補足：『姫路は微妙だから嫌』

鉄研部員のY本君が旅行の計画をして
関西でホテル泊する場所を決めるとき
に放った一言。

姫路は微妙な都市じゃないぞ。

補足：宗像は時々小加藤の腕時

計をイタズラで時刻をリセット

して小加藤を困らせる

◆4日目にして宗像青春18切符紛失事件

宗像「高知からどこ行ったんだっけ」

小加藤「自由行動で？」

宗像「俺確かその時に334系撮ったはず」

小加藤「それ3日目ね」

宗像「お前4日目何した？」

小加藤「4日目は自由行動で松山行ってた」

宗像「あっ！もしかして4日目ってそうか、Y本君があれを落とした日か？」

小加藤「お前が切符落とした日だよ【怒り】」

宗像「じゃあね！きっぷ！（可愛い声で）」

中田「お前が切符なくして焦っていたときの写真持っているからね【怒り】」

宗像「えっ、伊予松田だけ切符なくしたの？」

高野「阿波池田だよ」

宗像「『田』しか合っていないww」

他「www」

宗像「でも4日目だったからよかった」

中田「これ〔写真〕だからねお前が非常に焦ってたときの写真」

補足：2018年の夏は平年を超える記録的猛暑になった。



▲鳴門駅にて

他「www」

中田「ああ～ww ヤバい」

高野「ほんと宗像の絶望的な顔が浮かび上がってくるわww」

小加藤「俺らは呑気に松山城行ってたわ」

高野「呑気だなあ」

↓内輪ネタなのでめんどくさい人は飛ばしてください

中田「窪田先輩とウノ！」

高野「ああ～」

宗像「あ、あれね『窪田先輩とウノ！』」

小加藤「なにコイツ」

宗像「『窪田正孝先輩と会いました！！みんなでウノしてます！！』って」

高野「懐かしい」

宗像「で『うちらわ、ズツ友♡』とか言ってさあ

まさかの人物遠藤が乗ってきてさあ『わたしもうあがっちゃって、ひまなの…』とか送ってきて」

小加藤「正孝って俳優じゃなかったっけ？」

高野「俺が間違えたんだよ」

宗像「『あなたはひとりぢゃないよ だからあんしんして うちらわズツ友♡』とか送って」

小加藤「頭おかしいでしょ」

話はまた紛失事件にもどる

宗像「本当にさあ、フリー切符を失くしても何とか食いつなげるっていうことに気づいた瞬間から

『あっ 失くしてもよかったんだ！！』って」

高野「よくねえよ！！」

小加藤「よくねえよ、馬鹿！」

宗像『『いいーぶぶぶぶぶぶぶー (?)』ってなって…』

小加藤「2日目だったらマジで地獄だったよ」

宗像『『4日目で良かったー！！』って安堵の気持ちでいっぱいになった』

石川「1日目の時点でやらかしそうだな…って思っていたよ！！」

終

編集後記

今回の座談会ではいきなりトイレの話になったり、全員発狂するようなこともありました。

でも、無事に終わらせることができました。宗像は最後の最後にやらかしてしまいましたね…



追記

サイゼの時に最後のほう隣にいたラテン系グループがスペイン語で大声で話してたせいで何も聞こえなかった…

座談会を錦糸町（と亀戸）でやった理由はほぼ全員の家から一本で帰れるからです。

最後のほうになってくると全員疲れの顔が見えてきたので、カラオケでアンパンマンのマーチを流して座談会をするようになっていました。

私〔高野〕がこの記事を編集している間にも宗像・小加藤はカラオケ・九州旅行に行っていました。